

安全

カンタン

経済的

薬も使わず、草を生かして、手間いらず。 雑草抑制おまかせネット

水田畦畔

法面

傾斜地



これからは雑草管理の省力化、「おまかせネット」の時代。

”除草剤を使わず、草刈りもせず、土壌のためにもいい”———こんなうれしい話をご存知ですか？

それが [雑草抑制おまかせネット] です。

ネットだから光りも水もよく通し、雑草はネットの下で繁茂し自然に枯れ

土壌の養分になり、土砂流出も防ぎます。

もちろん、草刈りの手間いらず。そのうえ、耐久年数は約5年 (UV剤入り) と経済的。

ダイオキシン等の環境公害の心配はありません。

21世紀の新しい農業を [雑草抑制おまかせネット] がサポートいたします。

草刈不要



ネット前

炎天下での草刈りは大変な重労働になります。



ネット後

草はネットの下で茂り、カマボコ状に膨らむが、重労働の雑草管理から解放されます。

奈良県森林技術センターや吉野杉産地で実証された
雑草抑制ネットを活用して開発した、
農業用「雑草抑制おまかせネット」を21世紀にお役立てください。

うれしい7つのネット効果

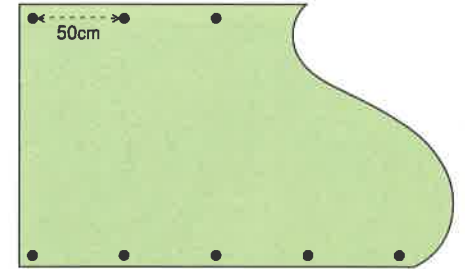
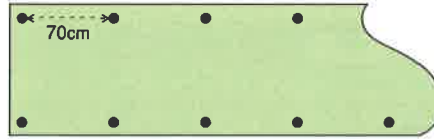
- ① 炎天下の厳しい草刈り作業から解放されます。
- ② ネット敷設の労働力及び管理は草刈の1/4程度。草刈りよりも合理的。
- ③ 耐久年数は約5年（UV剤入り）。長い目で見ても経済的。
- ④ ネット敷設作業はカンタン。伸縮性があって軽いので、どこでもOK！
場所も時期も選びません。
- ⑤ 雑草を生かすので土壌が活性化。雨などによる土砂流失もありません。
- ⑥ ネットやストッパーは金属ではないので、ケガの心配もありません。
- ⑦ 環境公害が発生しない安全ネットです。

雑草抑制おまかせネット使用方法

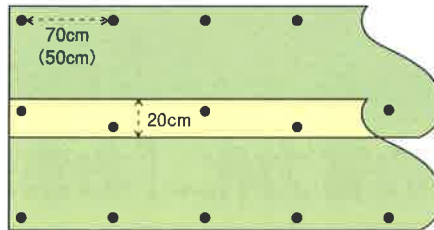
冬 期…… 枯草を除去してからネットをストッパーで固定します。
夏の生育期…… 草を刈り取り、草を除去してからネットをストッパーで固定します。
管 理…… ネットの継ぎ目や目合などから雑草が抜き出る事があります。
年に1、2回ナイロンコードで刈払いを行って下さい。

◎1m巾:50m巻1本に対し、ストッパー約150本使用

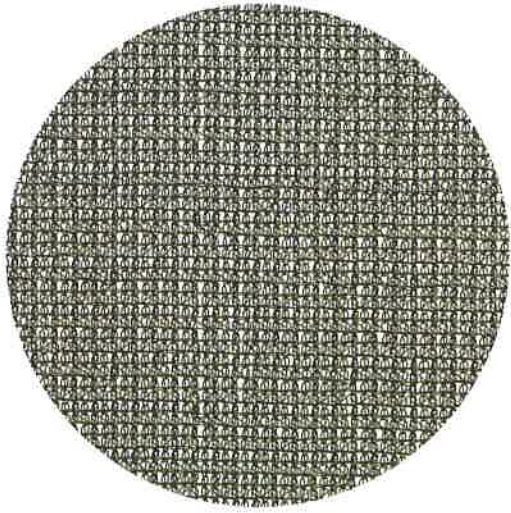
◎1.5m巾・2m巾:50m巻1本に対し、ストッパー約200本使用



◎つなげる場合（最低20cmは重ねる）



ストッパーを70(50)cm間隔に打ち込む、その際、打ち込みすぎず、ネットとストッパーの傘部分との隙間を2cmあけてください。（打ち込みすぎると、ネットと地面の接点部分に土砂が溜まったり草が生える原因になる。）
※ストッパーのききにくい柔らかな土や砂地では、針金8～10番線くらいをU字型やJ字型に曲げて補強してください。（針金は錆びて抜けにくくなります。）



▲ネット（目合/原寸大）

◎材質

- ネット:ポリエチレン
- ストッパー:ポリプロピレン
ダイオキシン等、環境公害の
心配がない素材を使用。



留め具（ストッパー）▶
サイズ:全直径46mm×
長さ210mm